

世界遺産一覧表記載物件の保全状況の概要について  
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

平成 30 年 4 月 16 日  
文化庁記念物課

**【古都京都の文化財】**

- ・ 賀茂御祖神社資産範囲で、神社が祭具等保管庫の建築を計画。周辺住民や文化庁等との協議により、当初計画よりも規模を縮小し、かつ歴史的環境に配慮した意匠が採用されている。
- ・ 同資産範囲及び宇治上神社において、文化財に油状の液体を撒かれる被害。すみやかに除去作業を行ったのち、各資産では防犯設備の改修、体制の強化を計画中。
- ・ 二条城正面玄関口、東大手門の景観改善を目的とした駐車場再整備が昨年 1 月に着工、6 月に完成した。
- ・ 宇治上神社の緩衝地帯及び隣接地において、民間業者により山丘を削る宅地開発計画があり、景観保全について調整中。あわせて、景観の保全を一層図るため、山丘部(緩衝地帯及び隣接地)の史跡・名勝等の指定を目指す取組を進めている。

**【原爆ドーム】**

- ・ 多言語による説明板の設置等により、来訪者の利便性の向上を図った。

**【古都奈良の文化財】**

- ・ 興福寺北の緩衝地帯において、バスターミナルの整備が進められている。名勝奈良公園に係る現状変更許可を受け、景観への負の影響が生じないよう、慎重に実施されている。
- ・ 平城宮跡東方の歴史的環境調整区域の地下を通過する大和北道路建設計画があり、地下水位監視システムとリスク低減の計画を策定した上で今年度から事業化される予定。

- ・ 奈良公園（緩衝地帯）の吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地の二地区それぞれにおいて、宿泊施設を伴う整備事業が進められている。名勝奈良公園の指定地内に当たることから、現状変更許可に係る手続きを経ており（平成29年6月に許可）、世界遺産に対しても負の影響を与えない適切な事業としている。

#### 【琉球王国のグスク及び関連遺産群】

- ・ 平成29年6月の大雨の影響により中城城の北側斜面地で地滑りが発生。城郭の築かれていた岩盤の一部も転倒するに至った。12月には土砂流出防止のための土嚢袋を設置し、今後地滑り対策工事を実施する計画としている。
- ・ 斎場御嶽では観光客増により石畳表面が摩耗している他、祈りの場としての神聖な雰囲気阻害されている。保全を図るために休息日を設定している他、ガイドによるマナーの周知を行い、急勾配の石畳には手すりを設置している。

#### 【紀伊山地の霊場と参詣道】

- ・ 平成23年の台風12号で被災した参詣道については順次復旧作業が進められている。
- ・ 平成29年の台風21号による被害など、豪雨による山腹崩落等が発生している。その都度通行止め等の処置をとったうえで復旧作業を行うとともに、治山工事も実施している。

#### 【石見銀山遺跡とその文化的景観】

- ・ 平成29年11月に「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録10周年記念事業が開催された。

#### 【平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群】

- ・ 風力発電事業等の計画に対応するため緩衝地帯を東側に拡大するよう、一関市及び奥州市の景観計画を改定する予定。
- ・ 平泉町祇園地内（緩衝地帯）の高速道路のスマートインターチェンジ建設について、資産に対する影響を軽減するように事業者等と協議を継続してい

る。

- ・ 中尊寺境内で建物の除却及び建替の計画がされている。除却は終了し、建替については地下遺構を損傷しない工法及び景観への配慮に基づき工事中。

### 【富士山-信仰の対象と芸術の源泉】

- ・ 平成30年12月までにユネスコ世界遺産センターへ報告するよう求められている保全状況報告について、「世界文化遺産富士山ヴィジョン・各種戦略」に基づき取組が進められた。
- ・ 特に来訪者管理戦略に係る指標等の設定については、来訪者管理の目標として定義した「望ましい富士登山の在り方」を実現させるため、平成27年度からのモニタリングに基づき、著しい混雑を避けるための指標が提示された。
- ・ 平成29年7月、須走口本七合目から吉田口下山道八合目間の山腹において、約300mにわたり無許可で白い矢印が描かれていることを発見し、同年8月に山梨県・静岡県、富士吉田市、小山町、環境省及び林野庁が共同で除去作業を行った。
- ・ 三保松原において、平成28年度からL型突堤整備工事を実施している。また、平成30年度中の開館を目指し、「(仮称)三保松原ビジターセンター」の整備を進めている。
- ・ 平成28年度に施行された山梨県世界遺産富士山の保全に係る景観配慮の手続に関する条例に基づき、施設建設に係る事前調整が行われた。
- ・ 情報発信機能、研究機能等を備えた「富士山世界遺産センター」が、静岡県において開館した。

### 【富岡製糸場と絹産業遺産群】

- ・ 平成26年2月の大雪により大きな被害を受けた乾燥場については、復旧事業を継続中。
- ・ 富岡製糸場の西置繭所（国宝）について、保存修理及び耐震補強のための工事が行われている（～平成32年）。
- ・ 田島弥平旧宅緩衝地帯内の養蚕農家群の保存について、平成29年8月に、

一般社団法人日本建築学会関東支部より保存活用に関する要望書が提出された。

- ・ 「富岡製糸場と絹産業遺産群」のガイダンスを行うことを主な目的とした世界遺産センターの整備を開始した。平成30年度末には、同センターの運用を開始する予定。

#### 【明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業】

- ・ 平成27年7月の第39回世界遺産委員会において決議された勧告に対応するため、内閣官房と関係自治体が連携して作業を進め、作業の進捗状況をまとめた「保全状況報告書」が平成29年11月30日にユネスコ世界遺産センターへ提出された。
- ・ 平成30年3月までに、各資産において史跡等の整備基本計画と世界遺産の修復・公開活用計画を一体とした史跡等整備基本計画(修復・公開活用計画)が策定された。
- ・ 高島炭鉱北溪井坑跡や旧グラバー住宅など、いくつかの資産において保存・整備事業が実施あるいは計画されている。
- ・ 端島炭坑跡70号棟下部埋戻し工事が実施されるなど、いくつかの資産では修理等の事業が進められている。
- ・ 葦山反射炉など、多数の資産において発掘調査計画が策定され、また現在進められている資産もある。

#### 【国立西洋美術館】

- ・ 共同推薦を行った7か国で持ち回り開催をしている「国際常設会議」を、平成29年11月に国立西洋美術館で実施。
- ・ 平成28年7月の世界遺産委員会の決議において勧告された遺産影響評価の導入やモニタリング指標の改定等への検討結果を示す保全状況報告書を、平成29年12月にユネスコ世界遺産センターに提出した。
- ・ 緩衝地帯内のJR上野駅公園口前におけるJR東日本、東京都、台東区の3者による駅舎及び駅前空間整備計画が進行中である。本事業が国立西洋美術館の顕著な普遍的価値に対し負の影響を与えないよう、文化

庁，国立西洋美術館とも情報共有し，事業主体の3者間で協議しながら引き続き工事が進められる。

#### 【「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群】

- ・ 平成29年7月に世界遺産一覧表へ記載。
- ・ 沖津宮社殿について，平成29・30年度の2か年計画で修理を実施。
- ・ 宗像大社中津宮において，平成29年8月に前庭部参道の改修が行われた。
- ・ 宗像大社辺津宮において，拝殿前の幄舎改築，勅使館の建替，第二宮・第三宮の改修が行われた。
- ・ 新原・奴山古墳群の15号墳について，崩落防止に係る整備事業が平成30・31年度に予定されており，平成29年度は整備に伴う確認調査が行われた。
- ・ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群専門家会議を設置し，世界遺産委員会での決議及び今後の進め方，平成29年度保全状況等について検討した。